

# 差別扇動最後まで

## 宮部氏の街宣に抗議

### 差別禁止法

を求めて

時代の正体



司法判決や行政勧告を無視して部落差別を続ける極めて悪質なレイシストで、川崎市長選(26日投開票)に立候補している宮部龍彦氏(46)が選挙戦最終日の25

日も街頭演説でデマと差別扇動を繰り返した。

JR川崎駅でマイク納めに立った宮部氏は「LGBTは利権だ」「男女共同参画は達成された」「ヘイトスピーカー条例は廃止する」などと放言。被害を訴えた

り、差別解消に取り組んだりすることができるが、差別にさわされているマイノリティを攻撃した。

演説を聞きに来た極右政

党・参政党的支持者という

女性は部落差別を巡り、宮

部氏のうそを指摘する記事

を書いた神奈川新聞記者に向かって差別発言を連発した。

「日本人じゃない。うその記事ばかり書いて『日本語が分からぬんだ。朝鮮なんかいねーんだよ』

と声を荒らげ、宮部氏の選挙ペイトとデマによって差別が煽られていることをつ

かがわせた。

宮部氏は部落差別は存在せず、被害を訴えているのは利権のためだというデマをまき散らす。2016年、全国5360もの被差別部落の地名リストの出版を企て、インターネット上で一般観察を公開。差別で金もうけをする輩行と批判を浴びながら、敗訴後も被差別部落の街並みを有料サイトでさらす投稿を続ける。

川崎市民の小林竜さん(51)は「部落差別で使つた手口を外国人などに用いて、卑劣極まりない。人権を守るために条例や施策は被害者が涙を流しながら勝ち取ってきたものだ。選挙を悪用して踏みにじるやり口がとりわけ許しがたい」と憤った。(石橋 学)

おことわり  
川崎市長選に立候補している宮部龍彦氏については、経歴や出馬に当たつての主張に著しい差別的言動があり、差別が拡大する恐れがあるため、異なる扱いとしておりま

マイク納めの最後まで市民に抗議される宮部氏(中央)  
25日、JR川崎駅前